

2019年ふるさと遺産の選定

2019年9月～11月(3回) 安曇野事務所
屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト
屋敷林を急頭に認定候補エリアを抽出

第1回ワークショップ
2019年12月10日
豊科公民館
過年度と今年度の選定候補を列挙し相互比較

第2回ワークショップ
2020年1月14日
穂高支所
有力候補2エリアを選定し、特性や物語性について議論

視察研修

2019年9月17日
飯山市「小宮の里」視察
国の重要な文化的景観

2018-2 潮沢の交通遺産と東山集落の暮らし

2019秋
・さとやまさんぽ
・現地案内板作成
協力等

2018-3 千国街道・穂高のまちなみ

・穂高七ツ
・案内人の教室
・まちなみカレッジ
・穂高あめ市等

2018-1 長尾・野沢の田園集落と屋敷林

第28回ふるさとワークショップ
・民家調査
・ふるさとさんぽ2019秋
・落ち葉拾いワークショップ等

前年度の協定に基づいて認定エリアの協定団体の活動を支援

2018年度認定エリアでの活動支援 2019年度地域発元気づくり支援金活用事業

協働で進めるふるさと遺産の継承

『安曇野ふるさと遺産』の取り組みは「安曇野屋敷林フォーラム」で報告し、認定エリアで活動する市民団体との連携に向けた協定を締結。

2019年2月 2020年2月

ストーリー性に富み、活動主体のある文化財群を『安曇野ふるさと遺産』として認定支援

安曇野遺産 Azumino Heritage ふるさと



屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト

屋敷林を含む歴史的まちなみの保全活用を目的に2008年に設立。2011年に「安曇野の屋敷林」を刊行。
keikan-azumino-net

安曇野まちなかにぎわいプロジェクト

旧千国街道沿いのまちなかの活性化を目的に2008年に設立。市民と商工会が協力してあめ市や七ツ等の地域イベントを開催。

NPO法人 安曇野ふるさとづくり応援団

1ターナーと地域住民との交流による新しいふるさとづくりを目指すし、2006年に設立。
azumino-furusato.com

潮沢ロマンの会

明科潮沢の歴史の掘り起こしを目的に2016年に設立。各集落の歩みと産業などに関する学習会等を開催。
ushiozawa.naganoblog.jp

岩原の自然と文化を守り育てる会

堀金岩原の自然や文化財の価値を学び、知らせ、後世に受け継いでいくことを目的に2014年に設立。2019年に地域のガイドブック『これぞ安曇野岩原のタカラ』を刊行。

失われつつある安曇野の文化遺産の継承～法的な保全活用の第一歩として～

「安曇野ふるさと遺産」とは、失われつつある安曇野の歴史文化景観遺産のまとまりをNPO法人安曇野ふるさとづくり応援団がエリアで認定し、様々な主体との協働で継承していく新たなしくみです。

NPO法人 安曇野ふるさとづくり応援団 【事務局】〒399-8304 安曇野市穂高柏原1132番地2 (有)ライフポート安曇野内
Tel.0263-81-1325 URL:azumino-furusato.com

屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト 【事務局】〒399-8281 安曇野市豊科6000番地 安曇野市観光交流促進課内
Tel.0263-71-2053 URL:keikan-azumino.net

NPO法人 安曇野ふるさとづくり応援団 安曇野さんぽ

2019-2 烏川扇状地と西山麓の里山文化

里山

烏川の扇状地の地形を生かして育まれてきた暮らしの知恵と様々な恵み

環境の土台
○扇状地の扇頂部
○烏川と常念岳

構成要素
◇1000年以上前の古墳群
◇烏川の冷たい水を活かす工夫
◇里山の恵みと自然

みどころ
○国営アルプスあづみの公園
○塚原古墳群 ○烏川深谷緑地
○大庄屋山口家 ○山神社 ○岩原城等

協定団体
岩原の自然と文化を守り育てる会

2019-1 天蚕の恵みと新屋の屋敷林

田園

天蚕からの富が生み出した『豊かな集落』

環境の土台
○扇状地の扇中部
○天蚕栽培の適地

構成要素
◇天蚕の恵み
◇本棟造り屋敷林
◇集落の発達と山岳観光

みどころ
○曾根原家住宅 ○新屋の屋敷林
○鐘の鳴る丘集会所
○松尾寺 ○新屋公民館等

協定団体
屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト

QRコード

QRコード

2018-3

千国街道・穂高のまちなみ

まちなみ

塩の道の街道筋のまちの暮らしの変化を
今に伝える



2018-2

潮沢の交通遺産と東山集落の暮らし

里山

信州の交通の変遷史が刻み込まれた多様な
道筋と里山の恵みを活かした暮らし・文化

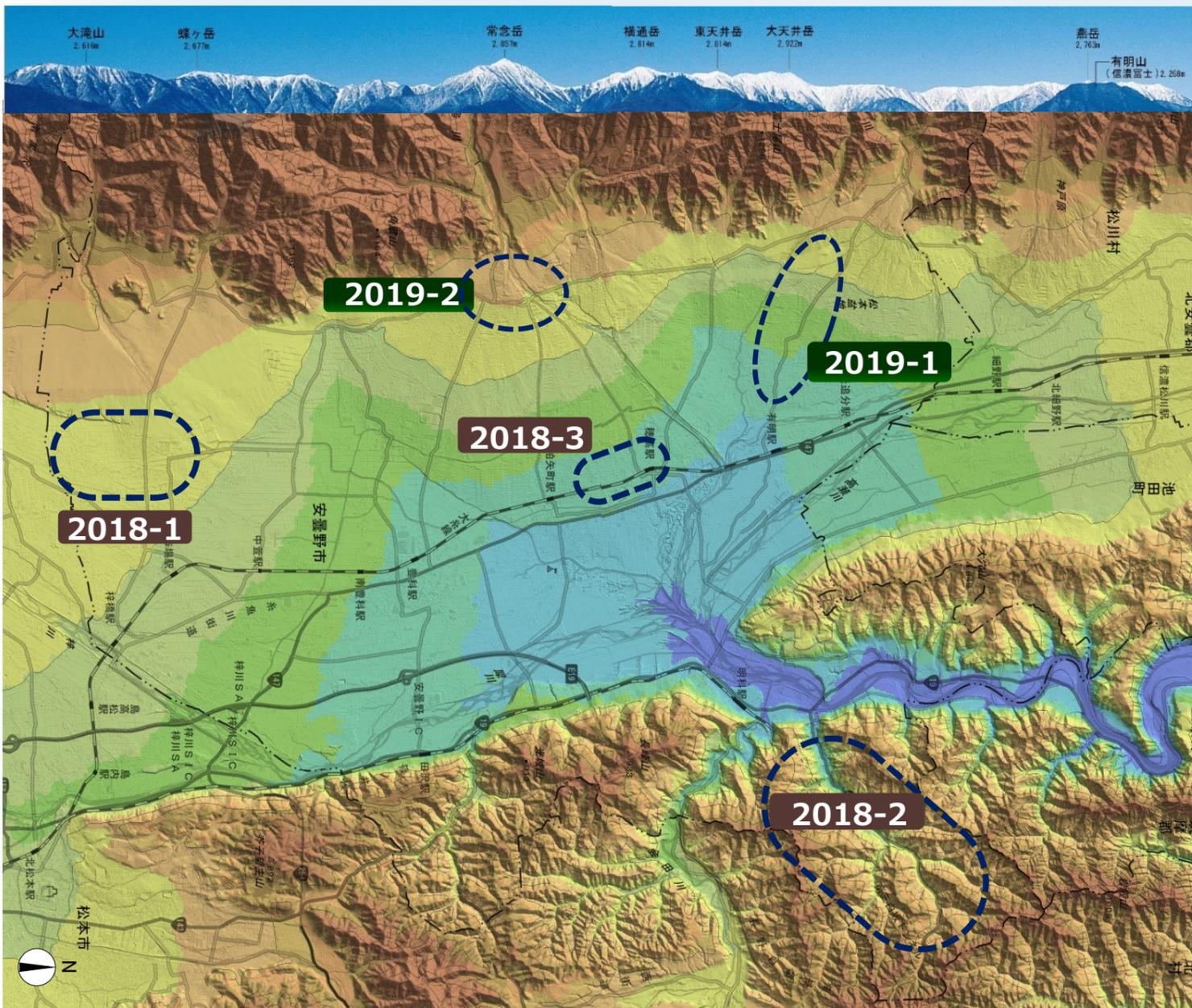


- 環境の土台** ○扇状地扇央部末端
○千国街道の宿場
- 構成要素** ◇宿場の名残
◇社寺石仏の信仰
◇近代以降の建造物
- みどころ** ○旧若松屋 ○北の枳形と道祖神
○十王堂と庚申塔 ○碌山美術館
○火の見櫓 ○穂高神社 等
- 協定団体** 安曇野まちなみにぎわいプロジェクト



- 環境の土台** ○海底堆積物の隆起地形
○善光寺裏街道
- 構成要素** ◇修験道の信仰と山城
◇たばこ生産の恵み
◇旧篠ノ井線の鉄道遺産
- みどころ** ○旧篠ノ井線廃線敷
○岩州山 ○柏尾御岳神社
○接吻道祖神 ○地藏堂 等
- 協定団体** 潮沢ロマンの会

日本の屋根 北アルプスの麓の複合扇状地で 人と自然が紡ぎだしてきた『安曇野ふるさと遺産』物語



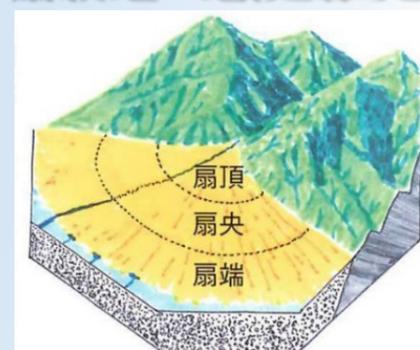
国土地理院電子国土情報 (<https://maps.gsi.go.jp>) より作成

地質 ～東西の違い～



出典: 楽しく学ぼう! 安曇野の郷科書(2014)
糸川・静岡構造線を挟んで東と西で地質年代も表層の土壌も異なる

扇状地 ～地形と暮らし～



出典: 安曇野の拾ヶ堰ガイドブック(2008)

扇頂部: 縄文や古代の遺跡も確認されている沢水と山の恵みで古くから人が住み着いた場所

扇央部: 地下水がしみこみやすく、先人たちが堰をつくって開墾した場所

扇端部: わさびや養魚の生産を支える、地下水が湧き出る場所

2018-1

長尾・野沢の田園集落と屋敷林

田園

先人たちが作りあげてきた生産環境
と蚕種生産がもたらした豊かな実り

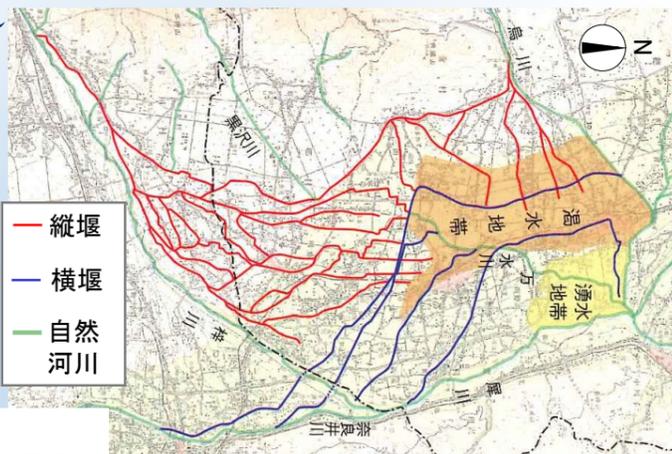


- 環境の土台** ○扇状地の扇央部
○原種に近いクワの生育適地
- 構成要素** ◇荘園と堰の発達
◇蚕種生産の富と名残
◇本棟造群と屋敷林
- みどころ** ○下長尾・野沢の屋敷林
○野沢の本棟造群 ○旧務台酒造
○温堰・長尾堰 等
- 協定団体** 屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト

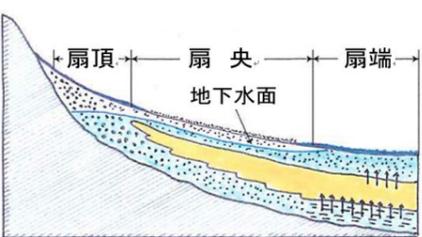
堰 ～水を求めて～

「堰(せぎ)」とは網目状に広がる安曇野の農業用水路のこと

元来、水の得にくい扇央部で水田耕作などができるようになったのは、先人たちが開削した堰のおかげ



出典: 安曇野の拾ヶ堰ガイドブック(2008)



出典: 安曇野の拾ヶ堰ガイドブック(2008)

- <2種類の堰>**
- 縦堰:** 烏川や梓川を水源とし、等高線に対して直角方向に自然の流れを利用して導水した堰
- 横堰:** 梓川や奈良井川を水源とし、等高線に沿ってほぼ平行に導水した堰